

第 222 号 内容紹介

1, 山崎圭一「第2期トランプ政権と発展途上国（下）」

アメリカの覇権後退でも困難を抱える途上国。グローバルサウスにはどんな選択と可能性があるか。3 回連載の最終回。

2、山崎圭一「国際情勢について一常任理事会での報告」

日本 AALA 国際部長として、当面の焦点を解説。イラン戦争と石油情勢、ウクライナ危機やラテンアメリカ情勢の他、米国内の動きにも注目。

3, 盧倩儀 「アメリカ批判は中国への譲歩ではない」

アメリカ帝国主義批判は中国への屈服だとする右派勢力からの攻撃に反論。反戦宣言をだした台湾の学者グループの姿勢を示す。筆者は台湾政府直属の中央研究院の現職研究員。

4, B・ノートン「ドル体制の危機/米が日本円救済に動く本当の理由」

米国による円支えの介入は、日本だけの問題でなく、ドル体制そのものが危機に直面しているからだ。米国が恐れる脱ドル化がすすむ現実がすすんでいる。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala_news の編集日記 \(livedoonar.jp\)](https://aala-news.livedoonar.jp/)） なお紹介している論考は学習資料であり、内容の全部も一部も日本 AALA の見解や立場を反映したものではありません。

